事前評価チェックシート

計画の名称： 南部町における循環のみちの実現

事　前　評　価	チェック欄
Ⅰ.　目標の妥当性 ①上位計画等との整合性。	○
Ⅰ.　目標の妥当性 ・下水道事業計画面積３３．０haは既に整備済であるが、公共用水域の水質保全を目的とした終末処理場の整備を図ることしているもので上位計画との整合はとれている。	
Ⅰ.　目標の妥当性 ②地域課題への対応。（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
Ⅰ.　目標の妥当性 ・地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした整備計画の目標を立てている。	
Ⅱ.　計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量的指標の整合性。	○
Ⅱ.　計画の効果・効率性 ・整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	
Ⅱ.　計画の効果・効率性 ②定量的指標の明瞭性。	○
Ⅱ.　計画の効果・効率性 ・定量的指標は、終末処理場の整備状況を的確に捉えている指標である。	
Ⅱ.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性。	○
Ⅱ.　計画の効果・効率性 ・事業内容は下水道整備に関わる事業としており、計画の目標と整合している。	
Ⅱ.　計画の効果・効率性 ④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性。	○
Ⅱ.　計画の効果・効率性 ・終末処理場の整備を行うことにより、水質の保全を確保することができる。	
Ⅲ.　計画の実現可能性 ①円滑な事業執行の環境。（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	○
Ⅲ.　計画の実現可能性 ・地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	
Ⅲ.　計画の実現可能性 ②地元の機運。（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

案件番号：0000718570

事　前　評　価	チェック欄
III. 計画の実現可能性	
・他事業である集落排水事業、合併浄化槽事業と連携し、町全体の汚水処理施設整備の促進を図り、水質の向上を目指すこととしている。	

案件番号：0000718570